

白色のセルに数値・内容を入力してください。色付きのセルには触らないでください。

【御代田町】 1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容	※留意事項
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・教員主体の「受動的な授業スタイル」から、ICT機器を活用した「個別最適かつ協働的な学び」を実現していく。 ・情報モラルに関する取り組みを推進し、ICT環境の中で、児童生徒が様々な情報と適切に向き合うための力も併せて育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等の内容並びにこれらに引き続く政府の議論も踏まえ、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。
②GIGA第1期の総括	<p>GIGAスクール構想による1人1台の端末の整備、ネットワーク環境の構築、また各校のICTリーダーと共に学習用デジタル教材の選定やICTによる授業の研究、ICT支援員による教職員児童生徒への支援等を進めてきた。ハード面については端末やネットワークに大きな不具合は発生しなかった。ソフト面については、教職員のICTスキルの差がみられたため、今後は教職員がICTスキルを身に付けていく支援をしていく必要があると考え、研修会の開催を複数回実施する等によりスキル向上を目指していく。またGIGA第1期から実施している端末の自宅への持ち帰りについては、児童生徒の主体的な学びに繋がっているため、今後も継続していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①も念頭に、令和5年度までの間にGIGAスクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明かになった課題については、その解決策とともに記載する。
③1人1台端末の利活用方策	<p>【1人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に活用することで、児童生徒の学習状況に応じた個別最適な学び、各自の考えを発信し共有するなどの協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びを推進する。 ・教職員が授業でICT機器を効果的に活用できるようにするために、教職員に対しての研修を充実させ、ICTを活用した指導力の向上を図る。 <p>【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】</p> <p>「児童生徒が自らの進度に合わせて学習を進めること」や、「他者の様々な考えに触れながら自らの考えを更に深める」といった取組みを進めていき、個別最適・協働的な学びの一体的な充実を目指す。</p> <p>【学びの保障（臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ会議アプリ等を活用し、教室以外でも学べる環境を既に一部クラスで実施しているところであるため、実施クラスの更なる拡大を図る。 ・翻訳アプリの活用や、音声入力、文字読み上げ機能等を活用し、個々の特性に応じた学習支援体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①及び②を踏まえ、端末の利活用方策を記載する。その際、1人1台端末の活用、個別最適・協働的な学びの一体的な充実、学びの保障の視点に触れて方策を記入する。 ・端末の利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを明記する。

※この計画は「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」の15ページを参考に作成。

※ 本計画の検討に当たっては、現行端末の整備における課題など、GIGA第1期の課題について学校現場にヒアリングを行うことが必須であるほか、文部科学省リーディングDXスクールによる先進的取組を参考とすることや、共同調達会議を通じて域内の他 市町村の取組や課題を参考とすることが強く推奨される。また、検討には、端末の整備担当だけでなく、教育委員会の指導課・指導主事の参画を得ることが望ましい。